



出張報告届

令和7年3月31日

吹田市議会議長様

会派名 吹田党議員団
代表者氏名 後藤恭平
出張者氏名 後藤恭平
石川 勝
中西勇太

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	参議院議員会館
期間	7年3月26日から3月26日まで1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	■各省庁 官僚レクチャー ①内閣府 ②こども家庭庁 ③総務省

(別紙)

①内閣府

新しい地方経済・生活環境創生交付金について、地方創生 2.0 の詳細についてレク。前回の聞き取りから進化部分はほぼない。デジタル田園都市国家構想交付金の採択事例の最新情報を入手。吹田市での交付金申請の意義について、今後会派で協議が必要。広域的な住民コミュニティの DX 化についての可能性、デジタル地域通貨等の可能性を検討したい。

②こども家庭庁

こども政策全体の合理性について疑問を持った。現実是不合理的な点が多い。仕事と子育ての両立支援について、吹田党議員団が主張している「家庭での子育て支援」策の必要性について今後も注視していく。

放課後のこどもの居場所についても、相変わらず合理性の欠く流れになっている。全国一律の制度から、それぞれの地域事情に沿った制度に変革すべきであることについて、吹田市議会内での議論を積み、必要に応じて国に対して意見書を提出するなどして、市政発展のために尽力していく。

③総務省

地方交付税総額は 19 兆円。103 万円の壁に係る影響を含めても財源は前年度比 +0.3 兆円確保。

臨時財政対策費は制度創設以来、初めて新規発行額ゼロ。

自治体 DX/地域社会 DX を推進するため「デジタル活用推進事業費」が創設され、地方財政法の特例を設け、地方債の発行が可能となる。

自治体情報システムの標準化・共通化に向けた環境整備については、吹田市でやり残しているものについて検証が必要。